

「障害児を普通学校へ・全国連絡会」とは、

「障害児を普通学校へ・全国連絡会」は、1981年8月“障害児が普通に学校へ行けるように”を共通の願いとして、会員相互のネットワークづくりと情報の共有を目的に、永六輔さんや灰谷健次郎さんらの呼びかけによって結成されました。

「共に生きる」という言葉はよく知られてきましたが、障害がある子が普通学校に通うことには、まだまだ多くの困難があります。しかし、障害のあるなしにかかわらず、どの子ども、それぞれの地域でみんなといっしょに学び、育つことが、もっとも望ましい姿であることは、いうまでもありません。障害があっても普通学校へ行きたい、通わせたいという本人と親の思いに共感する全国のみなさんが、ひとりでも多くこの運動を強め、広げる仲間になってくだされば幸いです。

会の目的として

- 健常児と障害児が生活をともにして差別をなくすために、障害児を地域の普通学校に入れること。
- 就学先の決定に際して、少なくとも本人と保護者の希望を最優先させること。
- 普通学級在籍児の特別支援学級や特別支援学校への転籍を強制させないこと。
- 特別支援学校、学級から普通学校、学級への転籍の希望を認めさせること。

これらを実現することが、会の目的です。

最も大切なライフラインは人のつながり

現地 くまもと実行委員会 代表 吉村 春美

私たちは、先の震災で、地域で暮らして地域で学ぶことがどんなに大切なことなのかと再確認させられました。被災した時の最も大切なライフラインは人のつながりでした。子どもの頃からお互いを知ることが何より大切なことです。子どものころから知っていて、どこにだれがいるかもすぐわかるし、何を必要としているかもわかっている。大丈夫かなあとすぐに連絡を取り合うこともできる。そんな関係を日ごろから作っておくことが大事なことです。そのためには一緒に暮らすことが何よりも大切です。そんな報告をします。今改めて、障害があっても地域の学校で共に学ぶことは当然のことだと確認する熊本大会にしたいと思っています。全国各地からたくさんの方たちに参加して欲しいと思っています。ぜひ、熊本でお会いしましょう。待ってます。



全体会公演 ▶ 当事者の主張

出演者：くまもと「show」 害者労働センター「おれプロ」



公演の一コマ みんなで頑張るぞー

おれんじ村は、障害があってもなくても共に働き、共に生きる社会を目指し活動をしています。私達の考える『共に働く』は、障害のあるなしにかかわらず仕事の内容やセンターのことを、何でもみんなで話し合い決めていくことです。月に2回の全体ミーティングを劇にしています。

小学校・中学校・集会などあらゆる所に公演に行っておりまので、皆様おれプロを宜しくお願い致します。

8月26日 土

- 12:00 受付開始
- 13:00 全体会

～ウェルカムソング～

開会行事

基調報告

おれプロ公演「当事者の主張」

被災地からの報告（障害当事者はどう生きたか）

- 15:00 分科会

第1分科会 「生まれてから就学まで」

第2分科会 「地域の子どもといっしょに学ぶ」

第3分科会 「地域の学びを高校へ」

第4分科会 「地域で生きる」

第5分科会 「震災をどう生きたか」「津久井やまゆり園事件を考える」

- 18:30 夕食交流会（学園大学 学生食堂）

♪各地域の取り組み紹介を兼ねた出し物の交流を行います。みんなで楽しみましょう。

- 20:30 終了



8月27日 日

- 9:00 分科会
- 11:30 分科会終了
- 11:45 閉会行事

分科会報告

大会総括

次回開催地挨拶

大会アピール

全員合唱（♪見上げてごらん夜の星を）

- 12:20 閉会

オプションツアー

- 13:30 被災地障害者センター視察（益城町）



★参加費★

資料代 3,000円 ※1日参加 2,000円

※家族参加の場合子ども無料・介助者（資料なし）無料

夕食交流会参加費 5,000円（中高生 2,000円・小学生以下無料）